

楽楽英語カテゴリー：英語一般
(2019年から2021年4月)
1：英語一般(1)～(13)

(1) 英語一般：あいさつで差をつける



①まずは一般的な表現を考えてみよう。

「Good morning」

「Good afternoon」

「Good evening」

この三つは一般的な表現で、

カジュアル、フォーマルにかかわらずどんな場面でも使える。

②日本語で「こんにちは」の翻訳と言ったら「Hello」か「Hi」になる。

「Hello」の方が少しフォーマルで、「Hi」の方が少しくだけた感じになる。

③「How are you?」

「How are you doing?」

「How are things?」

日本語だと

「ごきげんいかが?」とか

「調子はどうですか?」みたいになるが、

このあいさつに対する答えがなかなかコツがあると思う。

教科書で習ったのは、

「I'm fine.」が多いように思う。

しかし、

「I'm fine」というのは少しぶっきらぼう、そっけなく聞こえるので要注意である。

「I'm great.」というのに少し抵抗があるのならば、
「I'm good」とか「I'm okay」とかを使うといいと思う。



ここからは少しカジュアルな表現を見てみよう。

①「調子どう?」とか「よう!」みたいな感じののり

「Hi there.」

「How's it going?」

「What's up?」

これらはカジュアルな表現なので、
友達どうしとか、知り合い同士で使われる。



それでは次にフォーマルな場面でのあいさつを見てみよう。

①「How do you do?」

「よろしくお願いします。」みたいな感じである。

②「It's a pleasure to meet you.」

そのままの訳で「お会いできて光栄です」の意味。

③フォーマルと言っても、上で紹介した一般的な表現も場合によっては使われる。
距離感の問題であって、英語はコミュニケーションのツールなのである。



最後に番外編のあいさつを見てみよう。

映画とかで海賊同士が話している場面とかがあるが、特別すぎて何を言っているか分からないことがある。

とりあえず、今回は海賊が使うあいさつの表現を一つだけ紹介しておこう。

「Ahoy」

「よお」みたいな意味。

読み方は「アホイ」となる。

（２）英語一般：月の言い方



1 月：January

由来は、

「物事の始まりと終わりをつかさどるローマの神：Janus」

英語で言うと、

「**January is the month of Janus, the Roman God of beginnings and endings**」

読み方は、ジャヌアリーとなる。

最初に聞いたときは何のことだか分からなかった。
ボクがよく冒す間違いがジャヌラリーとしてしまうことだ。
一月からラリッてはいけない。
覚え方、
「1月じゃ！ぬ、アリがいる！1月なのに！」

2月：February

由来は、
「ローマの慰霊祭(Februa)の主神：Februus」
英語で言うと、
「**February is derived from Februa, the name of a Roman purification festival.**」
読み方はフェブラリーとなる。
ボクがよくする間違いは「Febrary」と書いてしまうことだ。
ローマ字読みを読み方と書き方が違うのがまぎらわしい。
読み方は「ラリー」だがスペルは「ルアリー」となる。
覚え方、
「2月はブルブル寒い。フェブルアリー」

3月：March

由来は、
「ローマの軍神：Mars」
英語で言うと、
「**March is named after the Roman God of War, Mars.**」
古代ローマでは暖かくなってきた3月に戦争が行われたことから。
ボクがよく混同するのが March と May どっちだったっけ？ということだ。
覚え方、
社長：3月にコアラのマーチが新発売させよう。
社員：5月はどうですか？
社長：5月だと遅いのだ！

4月：April

由来、
「ラテン語：Aprillis、二番目のという意味」
英語で、
「**April is from the Latin *Aprilis* meaning “second”.**」
古代ローマ時代のカレンダーでは、

3月から始まり4月は2番目だったことから。

エイプリルと読む。

覚え方、

「えび、ぶりぶり、るんるん。」

5月：May

由来、

「ギリシャ神話の女神：マイヤ、豊穡と大地の女神」

英語で言うと、

「May springs from the Greek goddess Maia, a nurturer and a earth goddess.」

先ほど述べたが、

ボクはたまに「May」と「March」が混ざってしまう。

覚え方、

「ご名答！」（五月のご）

6月：June

由来、

「ローマ神話の女神：Juno、結婚と出産の女神」

英語で言うと、

「June descends from Juno, the Ancient Roman Goddess of marriage and childbirth.」

ボクがよく間違えるのが、

「June」と「July」である。

覚え方、

「矛盾（むじゅん）」（六月の六（む））

7月：July

由来、

「ジュリアス・シーザー：彼が7月生まれだったことから。ユリウス暦を制定した人物なので」

英語で言うと、

「July was named after Julius Caesar with July being the month of his birth.」

今使っているユリウス暦はこの時代に作られた。

覚え方、

「従来なやりかた」（七月の七（な））

8 月：August

由来、

「初代ローマ皇帝 Augustus の誕生月」

英語で言うと、

「**August was named after Augustus, the first emperor of Rome.**」

オーガストと読む。

「オー」から始まるので「オクトーバー」と混同してしまう。

覚え方、

「八月に王がストライキ」

9 月：September

由来、

「ラテン語の「septem」で7「7」という意味」

英語で言うと、

「**September is from the Latin *Septem*, meaning “seven”.**」

セプテンバーと読む。

シーザーとアウグストゥスがそれぞれ

自分たちの月を入れ込んだせいで9番目になってしまった。

覚え方、

「苦しい、せっぱつまる」セプテンバーのせっぱ、苦しいのク（9）

10月：October

由来、

「ラテン語の「Octo」が由来。意味は「8」」

英語で言うと、

「**October is from the Latin *Octo* meaning “eight”.**」

オクトーバーと読む。

8本足のたこもオクトパスだ。

覚え方、

「置く？十（とう）バー。」

11月：November

由来、

「ラテン語の「Novem」が由来。意味は「9」」

英語で言うと、

「**November is from the Latin *Novem* meaning “9”.**」

ノベンバーと読む。
先ほど述べたが、
シーザーとアウグストゥスが
月を入れたせいで順番が変わってしまった。
覚え方、
「11月は忙しいのでノー」ノベンバーのノー。

12月：December

由来、
「ラテン語の「Decem」が由来。意味は「10」」
英語で言うと、
「**December is from the Latin *Decem* meaning “10”.**」
デッセンバーと読む。
これも順番が二つ繰り上がってしまった。
覚え方、
「デッセンバーのDはデーモン小暮。」12月の暮れのイメージ。

（3）英語一般：英語のなまり



（アメリカ英語とイギリス英語）

日本の英語教育ではアメリカ英語が採用されている。
日本でよく見かける映画や海外ドラマもアメリカ生まれの作品が多いので日本人はアメリカ英語の方が比較的なじみがあると感じる。
しかし最近では「ハリーポッター」などイギリス英語に触れる機会も増えてきた。
①「t」の発音について
アメリカ英語の発音では「t」が母音にはさまれた場合、

「らりるれろ」の発音に近くなる。

例えば、「put it down」が「ぷろいっだうん」みたいな感じ。

②「æ」(アッシュ)の発音。

「æ」(アッシュ)は「あ」と「え」が混ざったような音で、アメリカ英語はこの音が強い。

③「o」の発音

アメリカ英語では「hot」を「はっと」、
「coffee」を「カーふいー」みたいな感じ。

④「r」の発音

アメリカ英語の方が巻き舌に聞こえる。

以上の4つが主な発音の違いになる。

イギリス英語の発音を聞きたいのならばイギリスの番組を見ることをお勧めする。

個人的に好きなイギリスのドラマは

「ドクターフー」である。

Youtubeとかでも「イギリス英語」と検索すればたくさん上がってくると思う。

アメリカ英語とイギリス英語の違いは日本の標準語と関西弁の関係に似ている。

海外ドラマとかでたまにネタで取り上げることだが、アメリカでイギリス人がイギリス英語を話すともてるというネタである。

その逆でアメリカ人がわざとかっこつけるためにイギリス英語を話したりするネタもある。



(オーストラリアとニュージーランド)

OZ と NZ は基本的にはイギリス英語の流れである。

そして発音も似ている。

«まずはオーストラリアの発音について見てみよう。»

①「エイ」が「アイ」の発音になる。

例えば「マンデイ」が「マンダイ」になる。

知識としては分かっていたのだが、実際に自分がオーストラリアに行ってこてこてのオーストラリア英語で話されると理解できなかった思い出がある。

②語末の「er」などの音が「あ」に変わる。

例えば「water」が「うおーた」となる。

《次にニュージーランド英語を見てみよう》

①「い」が「う」となる。

例えば「fish and chips」が「ふっしゅあんどちゅっぷす」

②「え」が「い」

例えば「every」が「いぶり」

③「あ」が「え」

例えば「cat」が「けっと」

これらの点を意識して OZ とか NZ の番組を見てみると新しい発見があるかもしれない。

（４）英語一般：住所の書き方間違えやすいポイント３つ



英語での住所の書き方のポイントを３つだけ紹介しておこう。

①大きな違いは一つだけ：英語は小さいところから、日本語は大きいところから。
この違いだけ知っておけば基本は大丈夫だ。

首相官邸を例に考えてみよう。

100-0014 東京都千代田区永田町 2 丁目 3 番 1 号

2-3-1 Nagata-cho, Chiyoda-ku, Tokyo, 100-0014, Japan

という風になる。

②何丁目何番何号の順番はそのままひとかたまりで

ボクは以前間違えたことがある。

順番を逆にすること、

は全て逆にするのかと思って、

「2-3-1」を「1-3-2」としてしまったのだ。

おかげでアメリカのアマゾンで注文したものが

3 ヶ月くらい届かなかった。

郵便局員さんがいい人だったので、

頑張ってくれて何とか届けてくれた。

③「府」「県」「区」「市」「群」「町」「村」とか

「府」：-hu 又は -fu (例)Osaka-hu

「県」：-ken 又は prefecture *県に関しては何も書かない場合も多い

「区」：-ku 又は ward (例)Chuo-ku

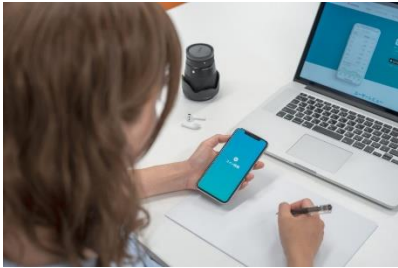
「市」：-shi 又は city (例)Osaka-shi

「群」：-gun 又は county (例)Nishitama-gun

「町」：-cho, -machi 又は town (例)Nagata-cho

「村」：-mura 又は village (例)Penguin-mura

(5) 英語一般：メールの書き方、5文で終わらせる



5つの文を紹介していこう。

①挨拶

短くシンプルなものでよい。

「Hi, 名前」

②目的

「request」

「question」

「confirmation」

なのかを述べる

③内容・詳細

④どうしてほしいのか

日時をしっかりと。

「Could you please」

「Can you」

とかで始めると分かりやすい。

⑤締め

短くシンプルに。

(6) 英語一般：履歴書とカバーレターについて



他の人と差が出てくるのがカバーレターになる。

ボクが意識したのは一つだけだ。

「どうやったら相手の感情を動かすことができるだろう」

ということだ。

自分のことに置き換えてみて欲しい。

「どんな時に感動するだろうか？」

「どんな時に泣くだろうか？」

「どんな時に笑うだろうか？」

それは、

自分の事として受け入れた時に

人は感動するのである。

例えば、

子供のいるお母さんならば

子供のことで感動することができる。

例えば、

サッカーが好きならば、

サッカー好きの人の興味を引き付けることができる。

お笑いなどでもそうである。

「たしかに一！こういう人いる！」とか、

「そうそう！うちのお母さんこんな感じだった！」

とか言う時に笑うのである。

(7) 英語一般：ホテルの対応



①まずはチェックイン

客：**I have a reservation.**

対応：**May I have your name please?**

対応：**Check out time is 11AM.**

はっきりいってこの後の会話は数字があっているかどうか
大事になってくる。

②チェックアウト

客：**I would like to check out.** または **Checkout, please.**

はっきりいって最低限必要なフロントとの会話は以上だ。

あとは決まったやり方はない。

誤解を生まないコミュニケーションを心がけるだけだ。

(8) 英語一般：電話対応



まずはビジネス対応について見てみよう。
ビジネス対応で大事なことは型を覚えてしまうことだ。
主には以下3つの型を覚えてしまおう。

①会社名（所属）と名前を名乗る

Hello, this is Pesoo from Rakurakueigo.

②担当者を確認

May I speak to Mr. Kato?

③目的

I'm calling about 名詞

I'm calling to 動詞

以上の三点セットを覚えてしまおう。
ビジネス系の英語電話対応でおれが覚えていることがある。
ある日のこと、
ニュージーランドの交通省みたいなところに電話をしたのだ。
日本の運転免許証があればニュージーランドで
免許の切り替えができるかどうかを聞いたのだ。
その時の始まりは確か、

Hello, my name is Pesoo(名前), calling from Japan(所属) .

I am calling to ask about a driver's license. (目的)

②の担当者は飛ばしたがここは臨機応変に。

ここまで言えたら、あとは説明の英語力が必要になる。
ここからは英会話の問題になると思うので
ここでは省略する。

(9) 英語一般：仮想通貨



仮想通貨全般を英語で7つのポイントにまとめてみたので
英語で簡単に説明できるようになってみよう。

- ① **In early 2009, an anonymous group of programmers under the name of Satoshi Nakamoto introduced Bitcoin.**
- ② **It is a peer-to-peer electronic cash system.**
- ③ **It is completely decentralized, or has no central controlling authority.**
- ④ **Blockchain is a public ledger of all transaction that ever happened within the network, which can be seen by everyone in the network.**
- ⑤ **Every transaction is a file which is made of the sender's and recipient's public keys and the amount of coins transferred. The transaction also needs to be signed off by the sender with their private key.**
- ⑥ **Cryptocurrencies can be used to pay for many things recently.**
- ⑦ **Cryptocurrency can be a completely new system, which is decentralized, self-sustained, and not controlled by any singular entity.**

(10) 英語一般：ザシンプソンの基礎講座



1989 年 12 月に始まった放送依頼 31 年以上も続いている
アメリカのサザエさんの長寿番組である。

一話 20 分の完結編のアニメである。

1 シーズンが 1 年で、現在シーズン 31 まで放送されている。

内容は、アメリカの**中流階級**を中心にストーリーが展開していく
基本的には**コメディ**であるが、中には**ブラックジョーク**や**性的描写**が生々しい事から
一応大人向けのアニメということになっている。

それではシンプソンズについて英語で簡単に説明できるように
練習してみよう。

The Simpsons is an American animated sitcom.

Since its debut in 1989, 31 seasons have been broadcast.

The series is a satirical depiction of working-class life.

The Simpsons is basically for adults because of excessive use of black humor and sexual descriptions.

それではザシンプソンズに登場する主なキャラクターについて
見てみよう。



ホーマー・シンプソン

Homer is the main protagonist of The Simpsons.

He is the husband of Marge, and father to Bart, Lisa and Maggie Simpson.

He works as the nuclear safety inspector at the nuclear power plant.



マージ・シンプソン

Marge Simpson is the wife of Homer and mother of Bart, Lisa and Maggie Simpson.



バート・シンプソン

Bart Simpson is the son of Homer and Marge Simpson.

His hobbies include skateboarding, reading comic books, playing video games and generally causing mischief.



リサ・シンプソン

Lisa Simpson is the middle child and most accomplished of the Simpson family.

She is a lover of music, especially jazz is her favorite.

She enjoys playing the saxophone.

She is the most intellectual member of the Simpson family.



マギー・シンプソン

Margaret Simpson is the youngest child of Marge and Homer, and sister to Bart and Lisa. She loves her pacifier, on which she is always seen sucking.

(11) 英語一般：ザシンプソンの基礎講座その2



パティー：ハスキーボイスが特徴的

Patty Bouvier:

Older sister of Marge and twin sister of Selma.

Patty and Selma are both gravel-voiced chain-smokers.



セルマ：ハスキーボイスが特徴的

Selma Bouvier:

Older sister of Marge and twin sister of Patty.

Patty and Selma are both gravel-voiced chain-smokers.

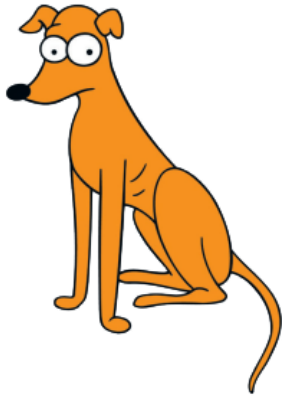


グランパ：甲高い声が特徴的

Abraham Simpson:

Homer's father.

He's better known as Grampa.



サンタズリトルヘルパー：シーズン 1 でバートが拾ってきた。ちょっとおバカだが、バートには忠実。

Santa's Little Helper:

He is the pet greyhound of the Simpson family.



アップ：インド英語のアクセントが特徴的。他のドラマとかでも風刺的に例えられたりすることもある。

Apu:

He is an Indian American immigrant proprietor who runs the Kwik-E-Mart.



バーニー：ホーマーの飲み仲間。慣れるまでは声が聞き取りにくいかも。

Barney Gumble:

He is the town drunk of Springfield and Homer's best friend.



チーフウィガム：ちょっとおバカな警察官チーフ。

Chief Wiggum:

He is the chief of police in Springfield and the father of Ralph Wiggum.



プリンシパルスキナー：バートの学校の校長先生。バートとはいつも敵対的。

Principal Skinner:

He is the principal of Springfield Elementary School.



ミスターバーンズ：原子力発電所の社長。悪の象徴で、金の亡者。

Mr. Burns:

He is the evil, greedy and wealthy owner of the Springfield Nuclear Power Plant and Homer's boss.

(12) 英語一般：ザシンプソンの基礎講座その3





フランダース：シンプソンズ家の隣に住んでいる。超いい人だが、ホーマーは思いっきり嫌っている。

Net Flanders

He is the extremely religious, good-natured, cheery next-door neighbor to the Simpson family.



クラスティ：バートが尊敬するピエロ。

Krusty the Clown

He is the long-time clown host of Bart and Lisa's favorite TV show.



ラブジョイ：シンプソンズ家はカトリック系で、毎週教会に通っている。

Reverend Lovejoy

He is the minister at the First Church of Springfield.



スミサーズ：バーンズに忠実な部下。ホモのような描写もされており、バーンズのことを密かに愛している。

Smithers

He is the executive and personal assistant of Mr. Burns.



ネルソン：学校のいじめっ子。バートとは敵対したり、友達だったり、まるでジャイアンのような存在。

Nelson Muntz

He is a bully at Springfield Elementary School.



ミルハウス：バートの親友。いい奴だが、バートのおかげでいつもトラブルに。

Milhouse

He is Bart Simpson's best friend. He is often led into trouble by Bart.



ラルフ：リサの同級生。少しおバカなキャラクター。

Ralph Wiggum

He is a classmate of Lisa Simpson and an odd child noted for his bizarre behavior.



グランドキーパーウィリー：スコットランドのアクセントが強くて、ボクは慣れないうちは何を言っているのか分からなかった。

Groundskeeper Willie

He is the head groundskeeper at Springfield Elementary School. He is proud of his Scottish origin.

(13) 英語一般：セサミストリートの基礎講座



①Big Bird



: **The main protagonist of the series and the first muppet to appear on the show.**

「protagonist」 主人公

「muppet」 操り人形

②Oscar the Grouch



: A trash can dwelling creature, who is portrayed as a habitual pessimist and was designed to give children permission to feel grouchy.

「grouch」 不機嫌な人、ぼやく人

「dwell(ing)」 住む

「pessimist」 悲観主義者

なんとなく子供に悪影響っぽい名前だ。

③Bert and Ernie



A pair of best friends.

Bert is the world-weary foil to Ernie's trouble-making.

Ernie is depicted as a free-spirited trickster who loves his rubber duck.

「world-weary」 世の中が嫌になった

「foil」 引き立て役

「free-spirited」 自由奔放な性格の

「trickster」 ペテン師、奇術師

④Cookie Monster



: A blue monster who is addicted to cookies.

「addict」 病み付きの
子供に真似をされたくないかも。

⑤Zoe (ゾーイ)



: An orange 3-year-old female monster, who is both dainty and strong.

「dainty」 きゃしゃな

⑥Rosita



: A turquoise 5-year-old female monster who speaks English and Spanish.

「turquoise」 青緑色 (タークオイズ)

⑦Grover



: **A blue monster, who is described as self-confident.**

「self-confident」 自信過剰の

⑧Count Von Count (カウント伯爵)



: **A vampire, who is obsessed with numbers.**

「obsessed with」 ～で頭がいっぱいである

⑨Elmo



: **A small red monster.**

エルモが主人公だと思っていた。

⑩Abbey Cadabby



: **A pink-fair-in-training.**

「in training」 見習いの、訓練中の